

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養	イラストレーション科	夜・通信	2,578	240	
	広告・写真・Webデザイン科	夜・通信	2,666	240	
文化・教養	ブライダル・トータルビューティー科	夜・通信	1,261	160	
衛生	美容師科	夜・通信	2,092	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.rad.ac.jp/school/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <https://www.rad.ac.jp/school/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士事務所 所長	令和2年4月1日 ～令和4年3月 31日	経理・財務
非常勤	株式会社 代表取締役社長	令和2年4月1日 ～令和4年3月 31日	経営機能強化
非常勤	株式会社 代表取締役	令和2年4月1日 ～令和4年3月 31日	多様な意見
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各学科教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに 2 月上旬までに時間割を確定。 授業計画を 3 月上旬までに作成し、4 月の始業前までに各クラスに配布、WEB サイトにて公表する。各授業第 1 回目オリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業料・その他納付金を完納し、かつ各教科の学期における授業実施時間数の 80% 以上出席した者に学期末試験の受験資格を与える。 出席率・課題提出・レポートと、学期末試験結果をもとに成績評価を実施する。ABC 評価により C 以上の評価を受けた者に、履修認定を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 自己の勉学の状況や順位を把握することを目的に、学生に対し GPA を提示する。 ABC 評価での A を 10、B を 8、C を 6、D を 0 とし、全科目の合計を全科目数で割り、算出する。 算出方法は WEB サイト、学生必携に記載し、公表している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>■学生必携 ■WEB サイト https://www.rad.ac.jp/souseikai/outline/index.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 以下 3 つの要件をすべて満たし、卒業判定会議にて卒業を認められた者に卒業証書を授与する。</p> <p>1. 卒業制作合格 2. 成績評価が全て C 以上 3. 年間要出席日数の 80%以上出席</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>■学生必携 ■WEB サイト https://www.rad.ac.jp/souseikai/outline/index.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
財産目録	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
事業報告書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程（文化・教養課程）	イラストレーション科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3340 単位時間／単位	446 単位 時間／単 位	0 単位時 間／単位	2894 単位 時間／単 位	0 単位時 間／単位	0 単位時 間／単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		75人	0人	4人	9人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに時間割を確定。授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布、WEBサイトにて公表する。各授業第1回目オリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験・筆記試験・作品制作・論文等の試験、出席率、課題提出をもとに、A～Dの絶対評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業制作合格、成績評価が全てC以上、年間要出席日数の80%以上出席
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制：有</p> <p>(概要)・入学前課題の実施（入学半年前より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・補習の実施 <p>■個別相談・指導等の対応</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	26人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ゲーム制作会社、印刷会社、広告・看板製作会社 等			
(就職指導内容) ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課、担任との就職面談の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) カラーデザイン検定、ビジネス著作権検定 BASIC			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73人	69人	5.5%
(中途退学の主な理由) 学校生活への不適合、経済的問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
財産目録	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
事業報告書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程（文化・教養課程）	広告・写真・Webデザイン科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3340 単位時間/単位	470 単位時間/単位	0 単位時間/単位	2870 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		21人	0人	3人	9人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに時間割を確定。 授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布、WEBサイトにて公表する。各授業第1回目オリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験・筆記試験・作品制作・論文等の試験、出席率、課題提出をもとに、A～Dの絶対評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業制作合格、成績評価が全てC以上、年間要出席日数の80%以上出席
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制：有</p> <p>(概要)・入学前課題の実施 (入学半年前より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・補習の実施 <p>■個別相談・指導等の対応</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 広告代理店・デザイン事務所・Web制作、フォトスタジオ 等			
(就職指導内容) ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課、担任との就職面談の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) カラーデザイン検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	35人	2.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
財産目録	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
事業報告書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程（文化・教養課程）	ブライダル・トータルビューティーク	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1725 単位時間/単位	356 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	1886 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		人	0人	2人	8人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに時間割を確定。授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布、WEBサイトに公表する。各授業第1回目オリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験・筆記試験・作品制作・論文等の試験、出席率、課題提出をもとに、A～Dの絶対評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業制作合格、成績評価が全てC以上、年間要出席日数の80%以上出席
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制：有</p> <p>(概要)・入学前課題の実施 (入学半年前より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・補習の実施 <p>■個別相談・指導等の対応</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 結婚式場・ネイルサロン・エステサロン 等			
(就職指導内容) ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課、担任との就職面談の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) アシスタントブライダルコーディネーター検定、メイクアップ技術検定、ネイリスト検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	35人	7.9%
(中途退学の主な理由) 学校生活への不適合、経済的問題、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ルネサンス デザイン・美容専門学校
設置者名	学校法人爽青会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
財産目録	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
事業報告書	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/
監事による監査報告（書）	ホームページ https://www.rad.ac.jp/souseikai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程（衛生課程）	美容師科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2092 単位時間／単位	686 単位 時間／単位	0 単位時 間／単位	2166 単位 時間／単位	0 単位時 間／単位	0 単位時 間／単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		23人	0人	3人	11人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各学科教育課程編成委員会ならびに講師会にて、授業内容に関する意見聴取を実施。出された意見をもとに2月上旬までに時間割を確定。授業計画を3月上旬までに作成し、4月の始業前までに各クラスに配布、WEBサイトに公表する。各授業第1回目オリエンテーションにて、学生に対して説明を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験・筆記試験・作品制作・論文等の試験、出席率、課題提出をもとに、A～Dの絶対評価
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業制作合格、成績評価が全てC以上、年間要出席日数の80%以上出席
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制：有</p> <p>(概要)・入学前課題の実施 (入学半年前より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携 ・補習の実施 <p>■個別相談・指導等の対応</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室			
(就職指導内容) ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課、担任との就職面談の実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 美容師、ネイリスト技能検定3級、メイクアップ技能検定3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 無し		
(中退防止・中退者支援のための取組) 厳正な入学選考、学生・保護者との担任面談、カウンセリングルーム設置		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
イラストレーション科	220,000 円	640,000 円	715,000 円	
広告・写真・Web デザイン科	220,000 円	640,000 円	715,000 円	
グラフィカル・トータルビ ジュアルデザイン科	220,000 円	640,000 円	785,000 円	
美容師科	220,000 円	640,000 円	785,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.rad.ac.jp/souseikai/outline/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 業界関係者、職能団体関係者等で構成される学校関係者評価委員会 (評価委員定員 4 名) にて、学校運営や教育活動、学生募集、学生支援体制等の項目を評価頂く。評価結果は学校長に報告の上、教務課長が中心となりプロジェクトチームを組んで改善を図り、次回学校関係者評価委員会にて報告する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
常葉大学浜松基礎教育センター長／ 元浜松北高校校長	令和 2 年 2 月 29 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	教育専門家
公益社団法人日本動物病院協会 専務 理事／日本動物医療センター院長	令和 2 年 2 月 29 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業等の委員 業界・団体委員
常葉大学造形学部長／キャリアセン ター長	令和 2 年 2 月 29 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	教育専門家
株式会社レボル 代表取締役社長	令和 2 年 2 月 29 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	企業等の委員
一般財団法人 動物看護師統一認定 機構 業務執行理事	令和 2 年 2 月 29 日～ 令和 4 年 3 月 31 日	業界・団体委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.rad.ac.jp/souseikai/outline/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

令和2年度の更新確認申請に際しては、提出不要
※改定のポイントの説明資料3ページ参照)

1. 前年度の授

				年間
支援対象者 () による者を				人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者 (年間)				人
合計 (年間)				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修 業年限が2年以下のものに 限る。）		
			後半期	
修業年限で できない	令和2年度の更新確認申請に際 しては、提出不要 ※改定のポイントの説明資料3ペー ジ参照)			人
修得単位数 の5割 (単位制によら ず、履修時 が標準時間数				人
出席率が5割 学修意欲が著				人
「警告」 連続して該当				人
計	人	人	人	人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修 業年限が2年以下のものに 限る。）				
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人

年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月末日現在）	令和2年度の更新確認申請に際しては、提出不要 ※改定のポイントの説明資料3ページ参照)	人
認定の効力の停止を受けたことにより		人
3月末日現在		人
訓		人
年間		人
(備考)		

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る。）、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。